

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援事業 スマイルシード青島		
○保護者評価実施期間	令和8年1月8日	～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和8年1月8日	～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月8日	～	令和8年1月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2件	(回答者数) 2件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月2日	～	令和8年2月10日

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者との緊密な情報交換が可能な環境を活かし、保育所や学校との円滑な情報共有および支援内容の整合を図っています。今後も各機関との信頼関係を深め、一貫性のある継続的な支援体制を強化してまいります。	・保育所等と家庭それぞれの環境やニーズ(ねらい)を的確に把握し、共通の目標設定のもと、経過や支援方法を共有しています。円滑な情報交換を促進するため、伝達内容の正確性を期した上で、双方へ迅速なフィードバックを行っています。 ・事業所で見つけた「その子の得意なこと・落ち着く方法」をまとめたサポートシートを作成し、新しい先生へ確実に伝えております。 ・保護者様に代わり、あるいは保護者様と共に、学校や保育所と具体的な支援方法のすり合わせを行います。	・ペアレントトレーニングの実施に加え、具体的な支援技術(エビデンスに基づいた手法等)をスタッフ間で共有・標準化することで、事業所全体の支援の質の底上げを図ります。 ・月に一度「今月できたこと(成功事例)」だけをA4半分程度にまとめたミニレポートを保育所・学校へ送付(FAXやメール)します。「事業所で成功した声かけ」を共有することで、学校での指導のヒントを提供できるよう進めて参ります。
2	・学校での様子を直接把握できる体制を活かし、抽出された課題を放課後等デイサービスでの個別支援プログラムに即座に反映させています。	・保育所等における課題を保護者へ分かりやすく還元し、訪問支援と放課後等デイサービスの双方において、児童の発達段階に応じた一貫性のある支援・対応を展開しています。 ・事業所でのプログラムでうまくいったアプローチ(声かけのタイミングや提示した視覚支援ツール)を、学校の先生へ具体的にフィードバックします。	・計画的な内部・外部研修の実施により、スタッフの専門スキル向上を推進します。多角的な知識を能動的に習得し、より質の高い多面的な支援体制の構築に努めてまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			